事業戦略

フィルム事業

廣岡 宗生
常務執行役員 フイルム本部長

総合力と組織力で
脱炭素社会・循環型社会を実現します

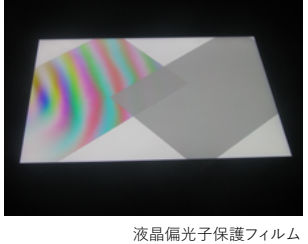
事業概要と市場環境

フィルム事業は工業用フィルムと包装用フィルムの2分野で構成されており、共に国内でトップクラスのシェアを保持しています。

工業用は、ディスプレー用、電子部品用、自動車用、ラベル用などに幅広く展開。特に「コスモシャインSRF®」は、他素材と比べ耐水性に優れ、液晶ディスプレーに使用される液晶偏光子保護フィルムとして高い市場シェアを有しています。また、セラミックコンデンサ用離型フィルムは、フィルム製膜と加工の一貫生産という強みに加え、継続した設備投資で供給力を強化し、市場の成長を支えています。

包装用は、食品包装を中心に展開し、多様な樹脂、製膜・加工技術、また開発力を有することで、顧客の課題解決に貢献しています。業界に先駆けてバイオマスフィルム、リサイクルフィルムを展開していることは、市場で高く評価されています。

プラスチックゴミ削減という社会要請の高まり、原燃料費の高騰や円安の進行など、事業環境の変化が続いていますが、循環型社会・カーボンニュートラルに向けた環境配慮型フィルム（グリーンフィルム）市場、デジタル社会の進展による機能性フィルム市場の拡大は、大きな機会として捉えています。



液晶偏光子保護フィルム
「コスモシャインSRF®」

セラミックコンデンサ用離型フィルムの
コーティング加工設備
「つるがフイルム工場コーター棟」

事業の特徴や強み

当事業は、多様な素材を扱い、原料から製膜および後加工（コーティング、蒸着など）までを一貫して開発・生産するための技術を有しています。国内外のお客さまと密接につながり、そこからいただいた課題、困りごとを、営業、開発、製造が一丸となって解決することにより新たな付加価値を創造していきます。

2025中計における事業戦略と取り組み

2025中計の最終年度である2025年度目標は、売上高1,700億円、営業利益100億円であり、2030年度は売上高2,200億円、営業利益180億円を目指しています。2025中計の目標達成に向けた具体的な施策として①高機能性フィルムの増産・拡販、②環境配慮型フィルムの拡大、③新規フィルムの開発・市場展開、④適切な価格設定を行っていきます。

設備投資・新製品の市場投入はおおむね予定通り進捗しているものの、原燃料価格の高騰と為替影響もあり、2023年度業績は売上高1,565億円、営業利益27億円にとどまりました。

先に掲げた施策を着実に実行することで、稼ぐ力を取り戻していきます。

長期的には、環境配慮型フィルムの販売を大きく伸ばし、さらには素材販売の枠を越えたソリューションの提供にチャレンジすることで、サステナブルな生活環境に貢献していきます。

ゆたかさの実現に向けた取り組み

People	**「従業員のウェルビーイング&サプライチェーンの人権」の取り組み** ● 従業員の安全とやりがいの醸成 ● ゼロ災と防災達成（事業基盤においても最も重要な課題と認識）
Planet	**「良質な水域・大気・土壌&生物多様性」の取り組み** ● 食品の鮮度保持など高機能包装用フィルムでフードロス削減に貢献 **「資源循環」の取り組み** ● 電気・電子メーカーのお客さまを巻き込んだセラミックコンデンサ用離型フィルムリサイクルの仕組みづくりや、製薬会社や印刷業のお客さまと連携したラベル台紙（「カミシャインNEO®」を使用した離型フィルム）の水平リサイクルを行う資源循環プロジェクトなど、業界を越えた資源循環の取り組みに積極的に参画
Prosperity	高機能フィルム、環境配慮型フィルムを広く社会に供給し、デジタル社会の進展、脱炭素・循環型社会実現に貢献することによる事業の成長